

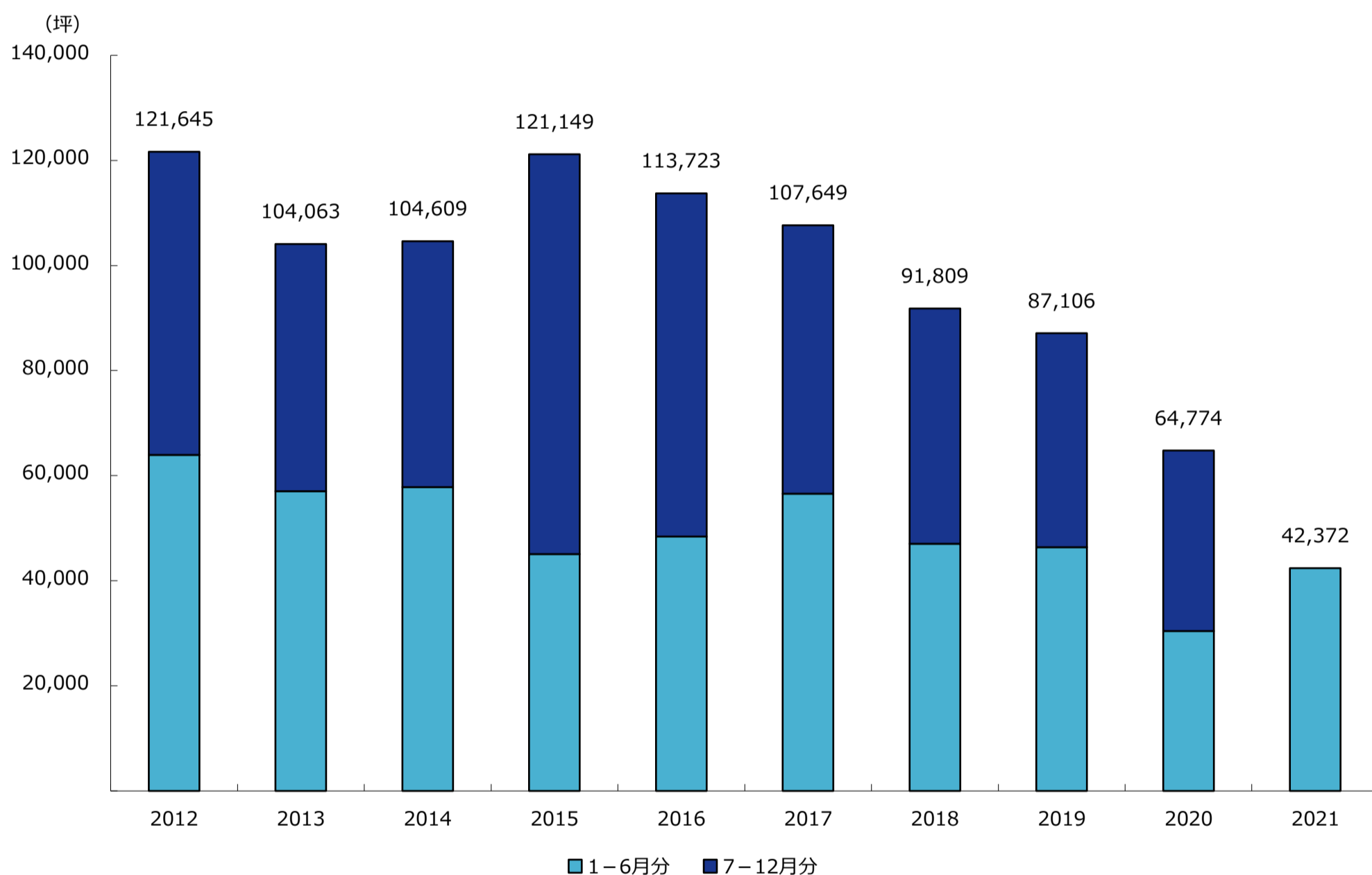
名古屋市の成約面積

※ 「成約面積」とはテナント募集を行ったビルにおいて、各統計期間内にテナントが成約した面積の合計です。

成約面積の動き・・・ 2021年6月の成約面積は 9,323坪で、前月を4,277坪（84.8%）上回った。前年同月比では4,403坪（89.5%）のプラスだった。

成約面積の構成・・・ 今年成約した面積の累計は42,372坪。その内、未竣工ビル（建築中）は5,579坪（13.2%）、竣工済ビルは36,793坪（86.8%）。

成約面積の推移



全体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	8,856	8,099	6,225	5,888	5,978	11,330	46,376	7,572	6,810	6,700	6,668	6,852	6,128	87,106
2020年	7,000	5,877	5,070	5,883	1,679	4,920	30,429	4,192	3,785	7,447	8,794	5,558	4,569	64,774
2021年	5,903	4,500	12,427	5,173	5,046	9,323	42,372	-	-	-	-	-	-	42,372

竣工済ビル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	6,791	6,810	6,133	5,888	5,526	8,768	39,916	7,540	6,537	5,949	6,668	6,717	5,847	79,174
2020年	6,340	3,735	4,463	5,883	1,679	4,614	26,714	4,073	3,682	5,455	8,343	5,442	4,569	58,278
2021年	5,586	4,500	8,367	5,071	4,970	8,299	36,793	-	-	-	-	-	-	36,793

未竣工ビル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	2,065	1,289	92	0	452	2,562	6,460	32	273	751	0	135	281	7,932
2020年	660	2,142	607	0	0	306	3,715	119	103	1,992	451	116	0	6,496
2021年	317	0	4,060	102	76	1,024	5,579	-	-	-	-	-	-	5,579

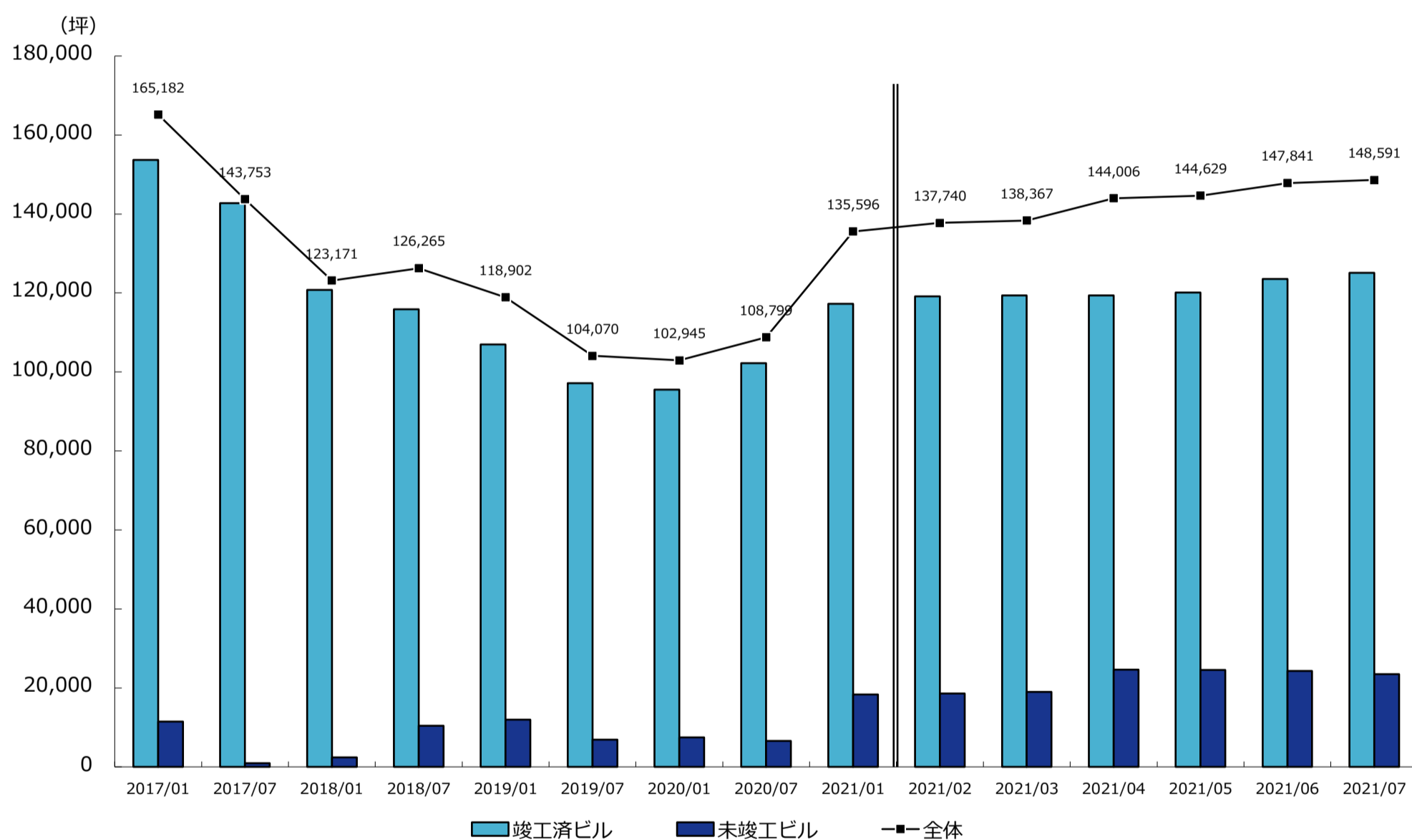
* 表中の単位は全て「坪」で表示しています。

名古屋市の募集中在庫面積

※ 「募集中在庫面積」とは各調査時点における、募集面積の合計です。

- 募集ビル全体の動き・・・ 2021年7月1日時点の募集中在庫面積は148,591坪（1,392棟）で、前月より750坪（0.5%）増加した。
- 竣工済のビルの動き・・・ 当月は125,103坪（1,377棟）で、前月より1,591坪（1.3%）増加した。募集中在庫面積全体に占める竣工済ビルの割合は84.2%。
- 未竣工のビルの動き・・・ 当月は23,488坪（15棟）で、前月より841坪（3.5%）減少した。募集中在庫面積全体に占める未竣工ビルの割合は15.8%。

募集中在庫面積の推移



	2018/7	2019/1	2019/7	2020/1	2020/7	2021/1
募集ビル全体	126,265	118,902	104,070	102,945	108,799	135,596
(棟数)	1,428	1,346	1,335	1,339	1,433	1,463

	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7
募集ビル全体	137,740	138,367	144,006	144,629	147,841	148,591
(棟数)	1,464	1,429	1,420	1,416	1,408	1,392

	2018/7	2019/1	2019/7	2020/1	2020/7	2021/1
竣工済ビル計	115,847	106,927	97,148	95,499	102,191	117,273
未竣工ビル計	10,418	11,975	6,922	7,446	6,608	18,323

	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7
竣工済ビル計	119,126	119,412	119,398	120,117	123,512	125,103
未竣工ビル計	18,614	18,955	24,608	24,512	24,329	23,488

《竣工済ビルの内訳》

	2018/7	2019/1	2019/7	2020/1	2020/7	2021/1
竣工済一年以内	1,603	3,223	679	960	2,692	5,265
竣工済一年以上	114,244	103,704	96,469	94,539	99,499	112,008

	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7
竣工済一年以内	4,575	4,119	4,029	4,489	4,548	5,611
竣工済一年以上	114,551	115,293	115,369	115,628	118,964	119,492

《未竣工ビルの内訳》

	2018/7	2019/1	2019/7	2020/1	2020/7	2021/1
一年以上先の竣工	9,308	8,599	1,204	0	3,209	2,117
一年以内の竣工	1,110	3,376	5,718	7,446	3,399	16,206

	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7
一年以上先の竣工	2,117	0	9,842	9,842	9,842	9,842
一年以内の竣工	16,497	18,955	14,766	14,670	14,487	13,646

* 2017年1月から2021年1月迄は6ヶ月単位、直近6ヶ月間は1ヶ月単位です。

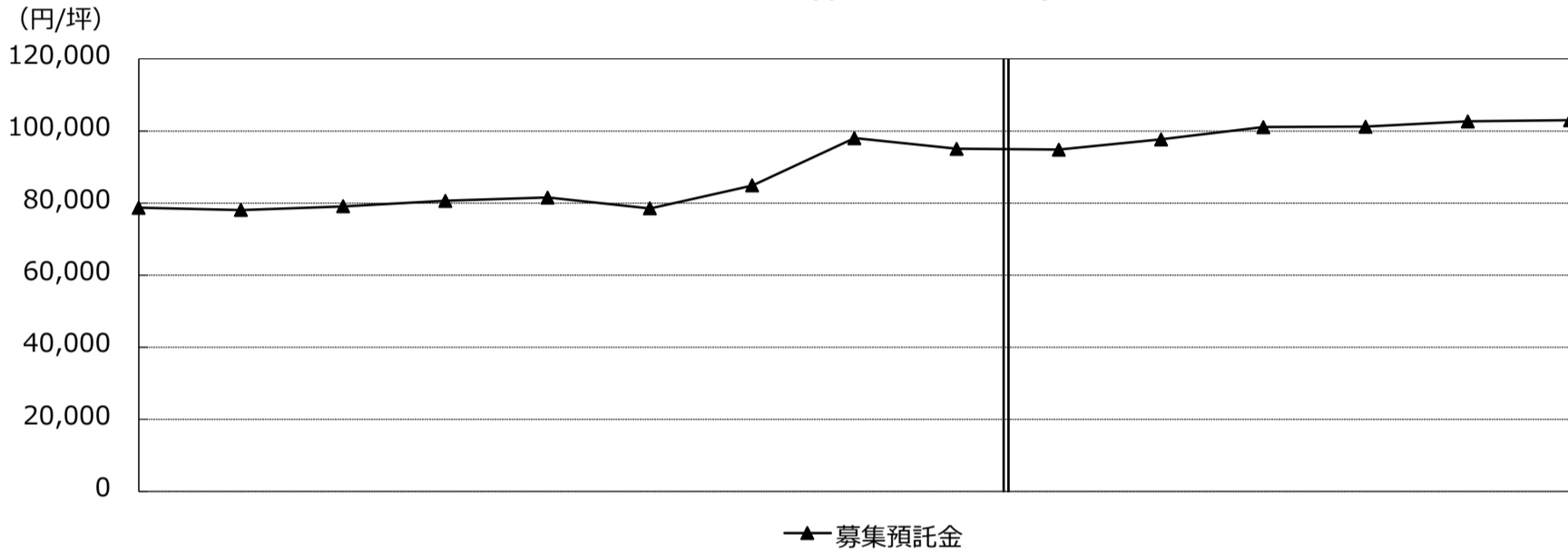
* 表中の単位は全て「坪」で表示しています。

名古屋市の募集条件と現空面積

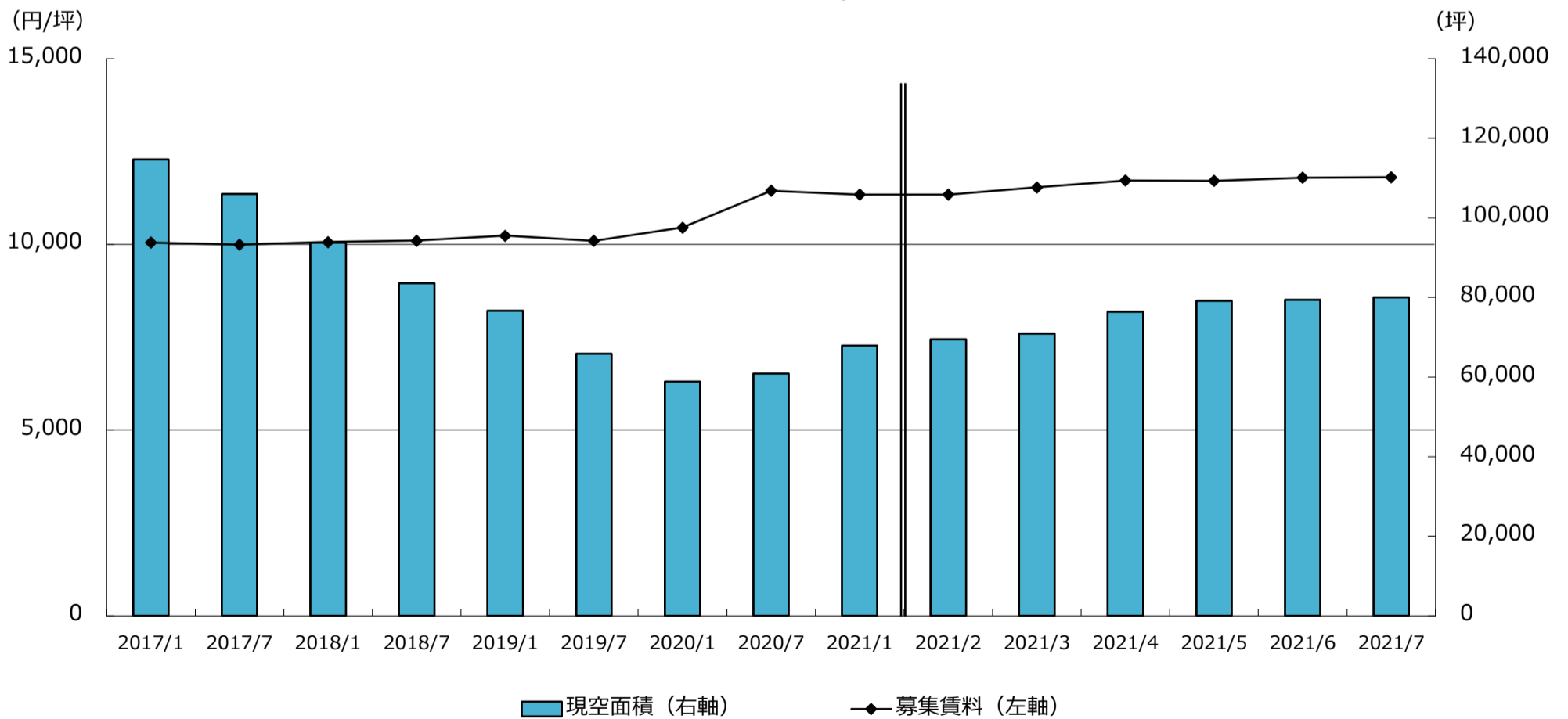
※ 「現空面積」とは各調査時点において、テナントが入居しておらず、契約後、即入居可能な面積の合計です。

- 募集預託金の動き・・・ 2021年7月1日時点での募集預託金は102,984円（8.7ヶ月）で、前月の102,674円（8.7ヶ月）から310円上昇した。
- 募集賃料の動き・・・ 当月の募集賃料（共益費込）は11,809円で、前月の11,793円からは16円（0.1%）上昇した。
- 現空面積の動き・・・ 当月の現空面積は80,079坪で、前月の79,422坪からは657坪（0.8%）増加した。

募集預託金（保証金・敷金）の推移



募集賃料（共益費込）と現空面積



	2018/7	2019/1	2019/7	2020/1	2020/7	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7
募集預託金推移	80,605	81,557	78,526	84,866	97,988	95,018	94,791	97,625	101,050	101,181	102,674	102,984
募集賃料の推移	10,100	10,233	10,097	10,452	11,441	11,343	11,338	11,534	11,723	11,709	11,793	11,809
現空面積の推移	83,600	76,663	65,887	58,835	60,868	67,882	69,511	70,921	76,408	79,150	79,422	80,079

* 2017年1月から2021年1月までは6ヶ月単位、直近6ヶ月間は1ヶ月単位です。
 * 表中の単位は全て「坪」「円/坪（共益費込）」で表示しています。

名古屋市の空室率

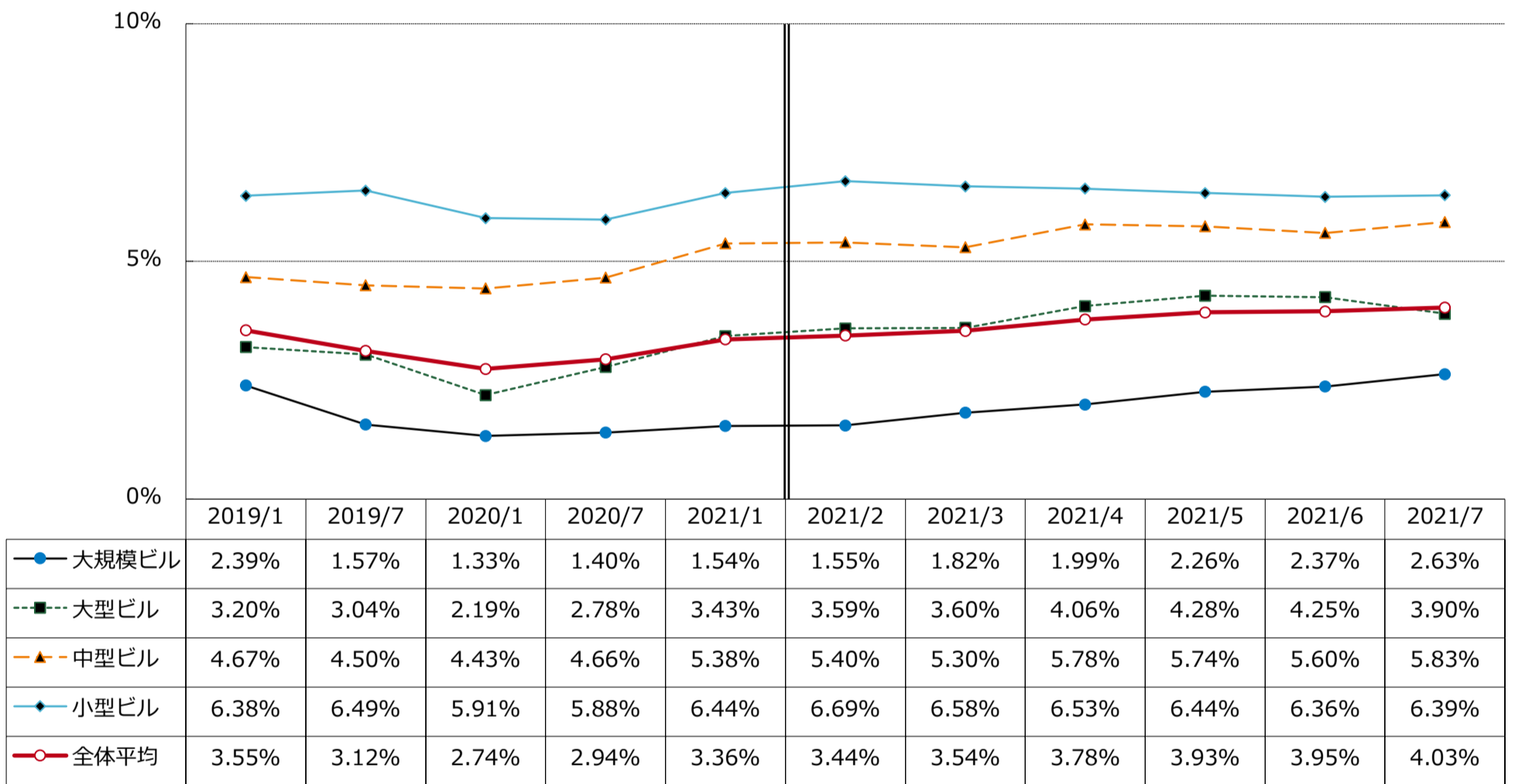
7月の大規模ビル空室率は 2.63%

2021年7月1時点で調査対象となった名古屋市の竣工済大規模ビルは204棟。空室率計算の分母となる貸付総面積は694,435坪。そのうち現空面積（=未稼働スペース）が18,286坪あり、空室率は2.63%。前月の2.37%からは0.26%上昇した。6月竣工の調査対象ビルはなかった。

当月の空室率

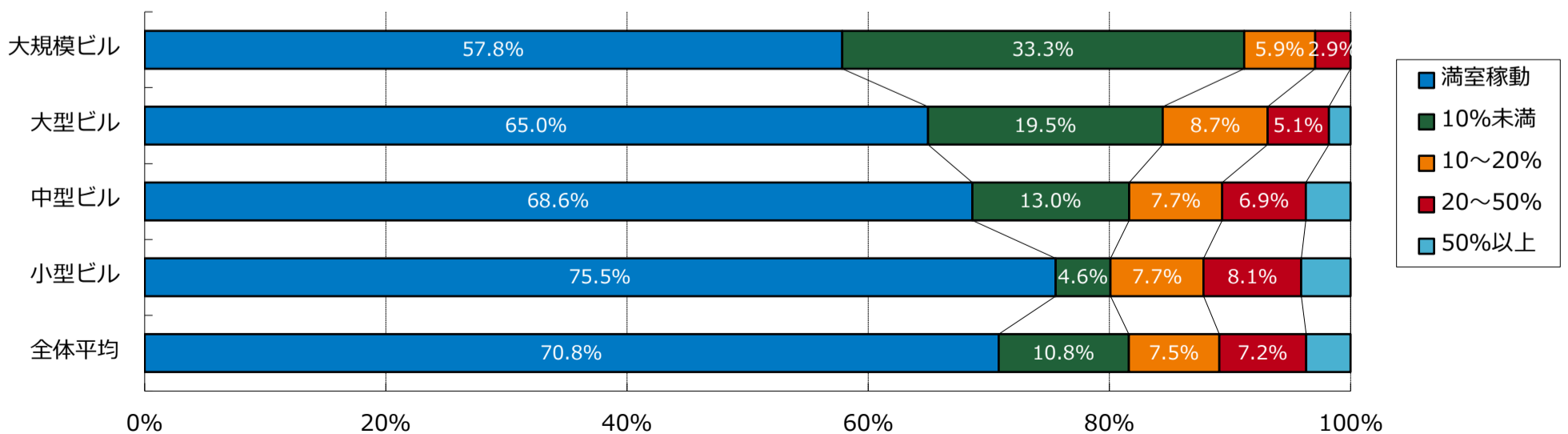
	大規模ビル	大型ビル	中型ビル	小型ビル	全体平均
名古屋市	2.63%	3.90%	5.83%	6.39%	4.03%
中 区	1.68%	2.99%	4.94%	5.66%	3.10%
中村区	3.23%	5.82%	7.38%	6.53%	4.37%

空室率の推移



* 2019年1月から2021年1月までは6ヶ月単位、直近6ヶ月間は1ヶ月単位です。

空室率の分布状況



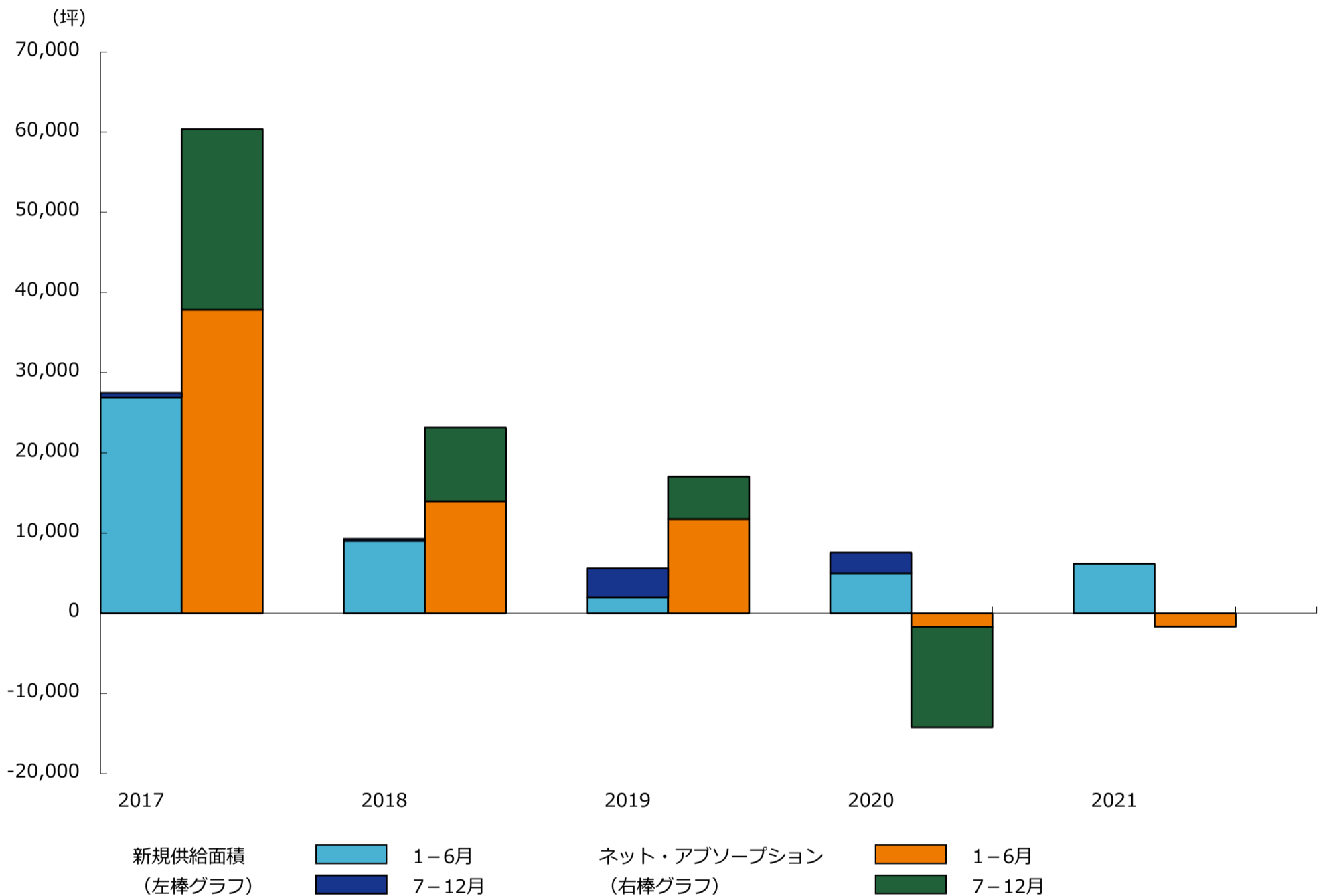
* 大規模ビルは1フロア面積200坪以上の物件。大型ビルは1フロア面積100~200坪。中型ビルは1フロア面積50~100坪。小型ビルは1フロア面積20~50坪。
* 小規模ビル（20坪未満）は調査カバー率が低いいため、規模別空室率では表示しませんが、全体平均データには含まれます。

名古屋市のネット・アブソープション（吸収需要）

ネット・アブソープションの動き ・ ・ 2021年6月のネット・アブソープションは-1,060坪。1月からの累計は（吸収需要） -1,686坪。前年における同期間累計との対比では27坪増加した。

新規供給面積の動き ・ ・ 2021年6月の新規供給面積は531坪。1月からの累計は6,144坪。

新規供給面積とネット・アブソープションの推移



■ ネット・アブソープション（吸収需要）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	6,789	4,957	1,024	-657	-4,447	4,090	11,756	-2,016	677	2,548	2,582	330	1,141	17,018
2020年	2,902	-3,387	154	-818	-3,685	3,121	-1,713	-821	1,094	-1,677	-3,370	-2,395	-5,346	-14,228
2021年	3,093	-286	14	-286	-3,161	-1,060	-1,686	-	-	-	-	-	-	-1,686

* ネット・アブソープション（吸収需要）＝「竣工済ビル募集面積（期初時点）」＋「新規供給面積（期間中竣工した新築ビル貸付総面積）」－「竣工済ビル募集面積（期末時点）」
「ネット・アブソープション（吸収需要）」とは各統計期間における稼働面積（＝テナント入居済面積）の増減です。

■ 新規供給面積

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	1,977	0	0	0	0	0	1,977	242	0	3,371	0	0	0	5,590
2020年	1,134	173	0	0	0	3,672	4,979	843	0	756	414	554	0	7,546
2021年	4,946	0	0	433	234	531	6,144	-	-	-	-	-	-	6,144

* 「新規供給面積」とは各統計期間内に竣工した新築ビル貸付総面積の合計です。

* 表中の単位は全て「坪」で表示しています。

データの見方

1. 調査時点

2021年 7月1日

2. 調査期間

2017年 1月 ~ 2021年 7月

3. 統計日・統計期間

各月 1 日時点（成約面積、新規供給、ネット・アブソープションは前月 1 日～末日の合計）

4. 竣工分類

1 年以上先の竣工・・・調査時点より 1 年以上先に竣工予定の物件

1 年以内の竣工・・・調査時点より 1 年以内に竣工予定の物件

竣工後 1 年以内・・・調査時点の 1 年前までに竣工した物件

竣工後 1 年以上・・・調査時点の 1 年以上前に竣工した物件

5. 単位

○成約面積、募集中在庫面積、現空面積、新規供給面積、ネット・アブソープション：坪

○募集賃料、募集預託金：円/坪

○空室率：%

6. 空室率調査

○空室率の規模分類は大規模ビル、大型ビル、中型ビル、小型ビル及び全体平均です。

小規模ビル（1フロア面積20坪未満）は未調査の割合が比較的高く、マンションタイプオフィスも含まれるため、規模別での空室率調査からは除外されますが、全体平均には含まれています。

○算出方法 現空面積（未稼働面積） ÷ 貸付面積（稼働対象面積） = 空室率（%）

○現空面積（未稼働面積）は、各統計日において弊社が得ているテナント募集情報を基に算出しています。

建築中ビルは竣工翌月より調査対象に加わり、竣工済み新築ビルでは未成約床、既存ビルでは次テナントの入居が可能となる月を基準に解約後のテナント募集床を現空面積へ算入します。

統計日時点でテナント募集のない調査対象ビルは“満室稼働”として集計しています。

テナント募集非公表のビル、貸付面積不明のビルは空室率調査の対象外です。

7. 用語の定義

(1) 募集中在庫面積	……	各統計日において、募集が公開されている面積の合計。 内部募集や公開募集前に成約した面積は含みません。
(2) 成約面積	……	募集中在庫面積のうち、各月毎に成約した面積。 公開募集に出ている募集を中止した場合の面積は含みません。
(3) 募集賃料、募集預託金	……	募集条件（賃料、預託金）の平均値。賃料は共益費込。
(4) 現空面積 （未稼働面積）	……	現在テナントが入居しておらず、契約後、即入居可能な面積の合計。
(5) 貸付面積 （稼働対象面積）	……	自社使用を除き、第三者（関連子会社）に賃貸可能なオフィス 床面積の合計。
(6) ビル規模	……	大規模ビル：1フロア面積 200坪以上の物件 大型ビル：1フロア面積 100～200坪の物件 中型ビル：1フロア面積 50～100坪の物件 小型ビル：1フロア面積 20～50坪の物件 （小規模ビル：1フロア面積 20坪未満の物件）
(7) 新規供給面積	……	「各統計期間内に竣工した新築ビル」貸付面積の合計。
(8) ネット・アブソープション （吸収需要）	……	各統計期間内のオフィス需要面積（稼働面積＝入居済面積）の増減。 算出方法 + 「竣工済ビル募集面積（期初時点）」 + 「新規供給面積（期間中竣工した新築ビル貸付総面積）」 - 「竣工済ビル募集面積（期末時点）」

【募集面積、現空面積、空室率、ネット・アブソープションの集計方法変更について】

○小規模ビル（1フロア20坪未満）に関して、情報更新が一定期間行われていないビルを除いた上で、データを再集計しました。

○各種時系列データでは、小規模ビルが含まれる「全規模」への影響が大きいため、ご注意ください。

○集計方法変更による影響を受けない募集条件を除き、過去のデータに関しては全て再集計しています。

※当レポートは情報提供を目的とし、情報の正確性に十分配慮して作成されておりますが、その内容を保証するものではありません。

使用にあたっては貴社の責任と判断にて、お願い致します。

©Sanko Estate Co., Ltd. All Rights Reserved.